

【 記 入 例 】

様式第1号（第4条関係）

協働事業提案制度応募申請書

令和 ○年 ○月○○日

三 田 市 長 あて

申請者 団体名

〇〇〇〇グループ

代表者名

三田 太郎

代表者住所

〒669-〇〇〇〇

三田市△△1-1

事業計画書の「団体名」「代表者」「連絡責任者」と同じであることを確認してください。

(連絡責任者) 氏 名 兵庫 花子

電話番号 080-9876-5432

協働事業提案制度に係る補助金の交付を受けたいので、三田市補助金等交付規則第4条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり応募します。

記

1 補助事業の名称 三田市協働事業提案制度「ええやん！やってみよっ！」

2 応募するコース

スタート支援コース

ステップアップ支援コース (1年目 ・ 2年目)

◆Wordで「しかく」と入力し変換すると■が入力できます

3 補助金等交付申請額

200,000 円

4 総事業費（予算額）

400,000 円

◆収支予算書の（収入の部）「市補助金 協働事業提案制度」の予算額と同じ
◆スタート支援コース 上限 10 万円
◆ステップアップ支援コース 上限 20 万円

5 添付書類

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書

(3) 前年度の活動実績が分かる資料（ステップアップ支援コースのみ）

(4) 企業版ふるさと納税寄附申出書（企業版ふるさと納税制度利用の場合のみ）

◆収支予算書の合計（事業総額）と同じ

市処理欄

本人確認 顔写真付公的証明書 電話・リモート等で確認 登録済メールで受信
 本人から受領 その他 ()

確認担当者 所属：

氏名：

事業計画書

提案事業名	提案内容がアピールできる事業名（既存の事業名でも可）を記載
応募コース	<input type="checkbox"/> スタート支援コース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップ支援コース（ <input type="text" value="1年目"/> ・ 2年目 ）
事業の実施期間	令和 ○年 4月 1日 ～ 令和 ○年 3月31日

実施期間は、4/1までさかのぼれます。終了は翌3/31までです。前年度から進めている事業の場合は、4/1～としてください。

1 団体、グループの概要

(フリガナ) 名称	○○○○○○○グループ ○○○○グループ			
代表者	氏名	三田 太郎	TEL	079-987-6543
	住所	〒669-9876	携帯	090-1234-5678
		三田市△△1-1	FAX	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市内在住 <input type="checkbox"/> 市内在勤（ ） <input type="checkbox"/> 市内在学（ ）			
	E-mail	△△@□□.□		
連絡責任者	氏名	兵庫 花子	TEL	079-123-4567
	住所	〒669-1234	携帯	080-9876-5432
		三田市△△2-2	FAX	079-123-4567
	E-mail	△△@□□.□		
団体・グループの活動目的	提案事業以外の活動も含めて、団体等の活動目的を簡潔に記載してください。 (例) 「花も団子も！」を合言葉に、園芸とお菓子作りをテーマに年齢性別を問わない仲間づくりを進めています。			
構成員数	○ 人			
ホームページ	無・ <input checked="" type="checkbox"/> (URL: http://△△△.△)			

2 連携・協働の相手方と手法（1つ以上）

1	相手方	□□の会
	手法	共催で事業を実施
2	相手方	株式会社△△
	手法	参加賞の提供
3	相手方	市民
	手法	活動に参加し、一緒に○○を行う

3 提案事業の概要

<p>想定する 受益者</p>	<p>対象者予定数：(例) 公募の親子ペア10組(20人)程度 事業の対象者(受益者)について、地域、年齢層、人数などを記載してください。</p>
<p>どのような活動を、どのような方法で行いますか</p>	<p><事業概要> (ホームページ等に公開します。200文字以内) 「三田が好きになる季節のお花とおやつ体験」をテーマに、三田の里地・里山に伝わる草花を愛でながら、昔ながらのおやつづくり体験を内容とする世代間交流と郷土文化再発見の場をさんだ市民センターで開催してきました。この活動を他団体との協働やクラウドファンディングにチャレンジしながら規模を拡大し、さらに多くの市民に体験してもらうことや、次年度以降の活動継続、動画活動報告の作成による魅力の全国発信を目指します。</p> <p><協働内容> 当会：庶務、草花関係の準備・対応 生涯学習クラブ：子どもたちのサポート 創作和菓子(株)かねや：おやつ材料、返礼品提供、技術指導 クラウドファンディング達成の場合：器具の増備や動画による活動報告作成や発信経費に充当</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">別紙での提出可</div>
<p>事業の周知方法</p>	<p>チラシの配布、SNSで配信 など</p>
<p>年間スケジュール(準備、実施、検証など) ※別紙での提出可</p>	
<p>4月</p>	<p>(例) 企画やスケジュールを確認</p>
<p>5月</p>	<p>クラウドファンディング開始、参加者募集</p>
<p>6月</p>	<p>クラウドファンディング終了 全体事業規模確定</p>
<p>7月</p>	<p>夏の講座：さんだ市民センター</p>
<p>8月</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">別紙での提出可</div>
<p>9月</p>	
<p>10月</p>	<p>秋の講座：広野市民センター</p>
<p>11月</p>	
<p>12月</p>	
<p>1月</p>	<p>冬の講座：高平ふるさと交流センター</p>
<p>2月</p>	
<p>3月</p>	<p>当年度分事業報告提出 ※次年度事業として春講座を翌4月に開催し年間事業として一巡</p>

< ステップアップ支援コースのみ >

現在の事業を、どのようにステップアップ（拡充）させようと思いますか。

対象者・対象地域を拡大、事業の内容を充実、他団体の事業と協働実施 など具体的に記載してください。

(例) これまでは、当会単独の主催で年1回さんだ市民センターのみで開催していたが、これを生涯学習クラブさんと(株)かねやさんとの協働で参加者の拡大と「おやつ」の充実化をはかるとともに、四季にあわせて交流会を年4回開催、会場も郡部の市民センターへの巡回としたい。またクラウドファンディングにより追加器材の購入費や材料費・会場費を確保し、翌年度以降の継続をはかりたい。

< 外部資金活用提案（加対象）の場合のみ >

どのような方法で、寄附金を調達されますか。

① クラウドファンディング

目標金額	100,000円
予定返礼品	返礼品の内容（その品を選んだ理由） (例) 米饅トリアルキットを寄付額に応じて進呈 (季節限定の伝統和菓子の再現が可能で独自性があるため)

② 企業版ふるさと納税制度（申請前に必ず協働推進課との事前調整が必要です）

寄附予定額	000,000円
執行年度	令和〇年度：000,000円 令和〇年度：000,000円
寄附事業者	事業者名：△△株式会社 ※ 詳細は、別添の「企業版ふるさと納税寄附申出書」を参照

③ 市内事業者からの寄附

寄附予定額	000,000円
寄附事業者 連絡先	事業者名：△△株式会社 所在地：〒669-0000 三田市△△1-1 電話番号：079-987-6543 担当者：(所属) 営業課 (氏名) 三輪 次郎

三田市協働事業提案制度「ええやん！やってみよっ！」

【 記入例 】

団体名： ○○○○グループ

収支予算書

(収入の部)

費目	予算額
市補助金 協働事業提案制度	200,000円
寄附金 企業版ふるさと納税	
寄附金 クラウドファンディング	50,000円
寄附金 市内事業者	
国・県・民間補助金	
その他収入 (参加費、売上等)	30,000円
自主財源	20,000円
合計 (総事業費)	400,000円

ステップアップ支援コースの場合
市補助金 ≤ 合計 (総事業費) × 90%
(例)
○ 200,000円 ≤ 400,000円 × 90% = 360,000円
✕ 200,000円 ≤ 200,000円 × 90% = 180,000円

合計額が一致

(支出の部)

補助金 充当先	費目	予算額	内訳 (主な内容)
	報償費	5,000円	講師謝礼金
	旅費	20,000円	講師、スタッフ交通費
○	消耗品費	150,000円	事務用品、クラウドファンディング 返礼品
○	印刷製本費	50,000円	ポスター、チラシ
	食糧費	30,000円	スタッフお弁当
	保険料	30,000円	参加者保険
	手数料	30,000円	クラウドファンディング手数料
○	使用料及び賃借料	20,000円	会場使用料
	備品購入費	65,000円	テント、テーブル
	合計 (総事業費)	400,000円	
	内 充当先合計金額	220,000円	←市補助金額以上を充当先に設定のこと

◆市補助金の充当先に「○」を付けてください。
◆収入の部の市補助金額より、支出の部の充当先の合計金額の方が多くなるようにしてください。
(例: 収入の部の市補助金200,000円 ≤ 充当先の合計金額220,000円)

- ◆募集案内 手続き編 (P7) の「補助の対象となる経費」、Q & Aを確認し、予算を作成してください。
- ◆「ステップアップ支援コース」で満額の市補助金を受け取る場合は、収入の部に23,000円以上の寄附金や自主財源等を計上してください。(事業に要する経費の90%以内で上限20万円⇒223,000円×90%≥200,000円)
- ◆市補助金を活用した支出については、事業終了後の実績報告時に領収書等の写しの添付が必要です。
- ◆クラウドファンディングや市内事業者からの寄附金、自主財源等での支出は、使途に制限はなく、領収書等の写しの添付は不要です。(企業版ふるさと納税の寄附金は除きます)

審査項目調書（事業アピール）

団体名： 花より団子！グループ

提案事業名： 里山の四季を感じる花とおやつプロジェクト

※以下の「評価のポイント」に対する回答を意識したアピール文を800字程度でご記入ください。

評価のポイント

必要性	<ul style="list-style-type: none">地域や社会のニーズを把握しているか解決すべき課題やターゲットが明確か優先度や重要性が高いテーマか
公益性	<ul style="list-style-type: none">市民の理解や共感が得られるか活動によって課題が解決し、広く根付いていくか既存の活動で満たされていない市民ニーズに応える活動か
計画性	<ul style="list-style-type: none">活動成果の目標が明確か予算やスケジュールに無理がなく、適正な事業計画か実現性や継続性がある事業計画か
協働性	<ul style="list-style-type: none">他団体との連携や市民参加による役割分担が意識されているか協働する各団体の専門性やノウハウが生かせる活動か市民や他団体の参加・協力により、更なる展開や定着が見込めるか

（例）三田市では、都市と里山の魅力が共存するまちをアピールしています。しかし日常生活においては、市街地の住民はもとより郡部の住民であっても里山の魅力や伝統的な生活に改めて触れる機会が少ないのが現状です。また伝統的な生活文化を伝承する市民の高齢化が進行するとともに、現役世代では生活文化から地域性が薄れており、伝統文化の継承が危ぶまれます。

そこで私たちのこれまでの活動を拡充し、世代や性別を超えた共通の関心ごととなり得る、季節の花と伝統おやつをテーマに世代や地域間の交流を推進することで、三田の里山文化への関心を高めるとともに文化継承に貢献しようとするものです。

また私たちが提供する機会にふれてくださった方々が里山や生活文化に対する関心を新たにさせていただくことで、その理解者や継承者となることが期待でき、市民みんなでかけがえのない三田の里山を次世代に継承しようという機運にもつながると考えます。

過去2年間私たちは、年1回公開の講座を開き講座開催の経験を積んできました。その経験からプログラムの構成や準備手配等には一定のノウハウを蓄積しており、スムーズな講座運営には自信があります。

一方で、年1回の講座では体験者数や内容の広がりには限界があるほか、私たちだけの力だけでは、子どもたちへの伝え方や人数分の材料の調合、手持ち器材の数量などに課題があることも認識しています。そこで今回は、生涯学習クラブさんや伝統和菓子の商品化に成功されている（株）かねやさんがもつ強みと協働することでそれらの課題を解決し、さらに多くの親子に体験の機会を提供することができると考えています。

さらにクラウドファンディングにより資金を調達し、手持ち器材の充実化や動画での活動報告の作成に取り組むことで、活動継続の基盤づくりや活動成果のWEBによる拡散を通じた本市の魅力の全国発信にも挑戦したいと考えています。

- ◆セル内で文書を改行する場合は、キーボードのAltキーを押しながらEnterキーを押してください。
- ◆各項目800文字以内で記入してください。（表の右側に入力文字数が表示され、800文字を超えると赤く表示されます）

【 記 入 例 】

様式第4号（第15条関係）

協働事業提案制度補助金等交付請求書

令和 〇年 〇月〇〇日

三田市長 あて

申請者 団体名

〇〇〇〇グループ

代表者名

三田 太郎

代表者住所

〒669-0000

三田市△△1-1

事業計画書の「団体名」「代表者」「連絡責任者」と同じであることを確認してください。

(連絡責任者) 氏 名 兵庫 花子

電話番号 080-9876-5432

令和 〇年 〇月〇〇日付三協指令第〇〇号により交付決定を受けた補助事業等について、三田市補助金等交付規則第15条の規定により、下記のとおり請求します

◆市から送付された「補助金等交付決定通知書」または「補助金等交付決定変更通知書」の右上の年月日・番号と同じ

1 補助事業の名称 三田市協働事業提案制度「ええやん！やってみよっ！」
□スタート支援コース ■ステップアップ支援コース

2 補助金等交付決定額 200,000 円

3 補助金等交付済額 0 円

4 交付請求額 400,000 円

◆市から送付された「補助金等交付決定通知書」の交付決定額と同じ(2カ所)

5 添付書類

① 補助金等交付決定通知書の写し

② その他

◆0円で記入

振り込みを希望する「代表者」または「連絡責任者」の口座情報を記入してください。

6 振込先

金融機関名 (☑)	三井住友	<input checked="" type="checkbox"/> 銀行 <input type="checkbox"/> 信金 <input type="checkbox"/> 信組 <input type="checkbox"/> 農協	三田	<input type="checkbox"/> 本店 <input checked="" type="checkbox"/> 支店 <input type="checkbox"/> 出張所 <input type="checkbox"/> 支所	預金種別 (☑)	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座
口座名義人	加 サンタ タロウ <small>(加欄は、姓と名の間にスペース、濁点「・」は1文字で記入)</small>					
	名義 三田 太郎					
金融機関コード	0009	店番号	391	口座番号 (右詰めで記入)	1234567	

市処理欄

本人確認 顔写真付公的証明書 電話・リモート等で確認 登録済メールで受信
 本人から受領 その他 ()

確認担当者 所属:

氏名:

協働事業提案制度補助金等実績報告書

令和 ○年 ○月○○日

三田市長 あて

申請者 団体名

〇〇〇〇グループ

代表者名

三田 太郎

代表者住所

〒669-〇〇〇〇

三田市△△1-1

事業計画書の「団体名」「代表者」「連絡責任者」と同じであることを確認してください。

(連絡責任者) 氏 名 兵庫 花子

電話番号 080-9876-5432

令和 ○年 ○月○○日付三協指令第〇〇号により交付決定を受けた補助事業等について、三田市補助金等交付規則第11条の規定により、下記のとおりその実績を報告します。

◆市から送付された「補助金等交付決定通知書」または「補助金等交付決定変更通知書」の右上の年月日・番号と同じ

1 補助事業の名称

三田市協働事業提案制度「ええやん！やってみよっ！」
□スタート支援コース ■ステップアップ支援コース

2 補助金等交付決定額

200,000 円

3 補助金等交付済額

400,000 円

◆市から送付された「補助金等交付決定通知書」の交付決定額と同じ
◆応募変更申請をされた場合は、「補助金等交付決定変更通知書」の変更後の交付決定額と同じ

4 補助事業の実績内容

添付書類のとおり

5 添付書類

◆市から送付された「補助金等交付決定通知書」の交付決定額と同じ

- ① 実績報告明細書
- ② 事業収支精算書
- ③ 活動状況の分かる資料（写真、チラシ等）
- ④ 補助金を使用した対象経費の領収書等の写し
- ⑤ その他

市処理欄

本人確認 顔写真付公的証明書 電話・リモート等で確認 登録済メールで受信
 本人から受領 その他（ ）

確認担当者 所属：

氏名：

3 事業の概要

事業の 受益者	事業の対象者（受益者）について、地域、年齢層、人数などを記載してください。
活動内容の 詳細	別紙での提出可
事業の周知方法	チラシの配布、SNS で配信 など
活動スケジュール（準備、実施、検証など） ※別紙での提出可	
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	別紙での提出可
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

< 事業の効果 >

<p>・事業を実施したことにより、地域や市民の課題解決などに、どのような効果がありましたか。</p> <p>・今後も事業を継続することで、どのように変わっていきますか。</p>
--

< 外部資金活用提案（加点対象）の場合のみ >

① クラウドファンディング

目標金額	〇〇〇,〇〇〇円
返礼品の内容	返礼品の内容（その品を選んだ理由）、寄附者数 など

② 企業版ふるさと納税制度

寄附額	〇〇〇,〇〇〇円
執行年度	令和4年度：〇〇〇,〇〇〇円 令和5年度：〇〇〇,〇〇〇円
寄附事業者	事業者名：△△株式会社 ※ 詳細は、「企業版ふるさと納税寄附申出書」を参照

③ 市内事業者からの寄附

寄附予定額	〇〇〇,〇〇〇円
寄附事業者 連絡先	事業者名：△△株式会社 所在地：〒669-〇〇〇〇 三田市△△1-1 電話番号：079-987-6543 担当者：(所属) 営業課 (氏名) 三輪 次郎

三田市協働事業提案制度「ええやん！やってみよっ！」

領収書等添付様式

団体名： ○○○○グループ

<No. 1 >

① **領 収 書**

○○○○グループ 殿 2022年8月25日

金額 ￥20,000-

但 折りたたみコンテナ10個 として

株式会社 □□□□

通 帳

年月日	摘 要	お支払金額	お預り金額(円)	差引残高(円)
04-09-05	振込	*5,620		*201,500
04-09-17	現金	*30,000		*171,500
② 04-10-15	振込	*14,300		*157,200

「口座引き落とし」や「銀行振込」の場合は、請求書などの明細を添付してください。

② **請求書**

○○○○グループ 殿 2022年10月10日

金額 ￥14,300- (税込み)

ファイル @300×20冊	6,000円
上質紙 @500×5個	2,500円
マジック @900×5セット	4,500円

株式会社 □□□□

「収支決算書」(支出の部)の支出内訳の番号に対応する「一連番号」を書いてください。

レシート

③ **△△商店**
【領収書】

三田市□□1-1 079-123-4567
2022年10月20日(木)13:05

セロテープ @200×1点
¥200

画用紙 @300×2点
¥600

クリップ @100×3点
¥300

合計 ￥1,100

お預り ¥1,500
お釣り ¥400

費目：消耗品費 35,400円